

『そなえる・ふくしま2025』来場者に VRを体験してもらいました。

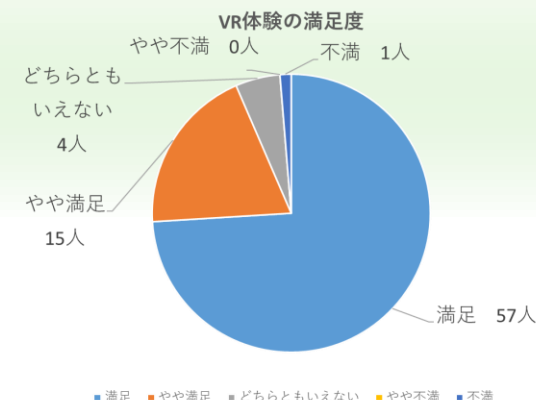
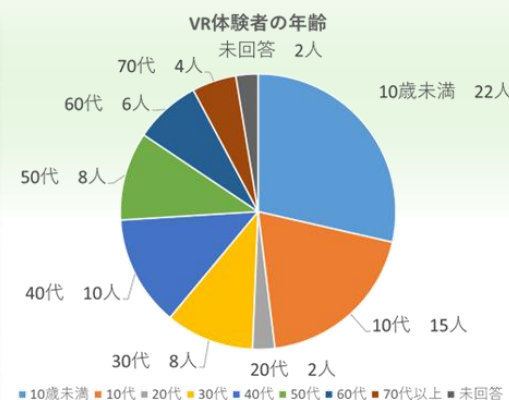
令和7年11月17日
土木部 河川整備課

令和7年11月8日（土）に、いわき市小名浜のアクアマリンパークにおいて、県主催の防災イベント『そなえる・ふくしま2025』が開催されました。

当課では、来場された方々に水災害のおそろしさや河川整備の必要性を実感してもらうため、洪水・浸水シミュレーションVRを体験してもらいました。

多くの皆様に体験してもらい、いろいろな声をお聞きすることができました。

今後も、治水及び防災について啓発活動を実施していきます。



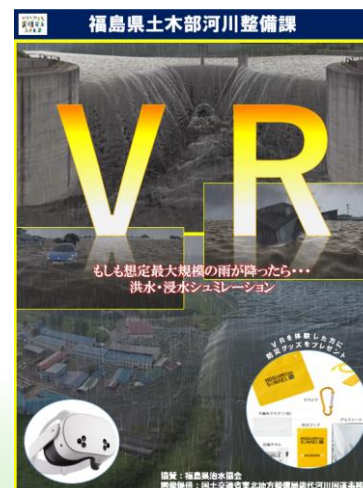
VRを体験していただいた方々には、アンケートにもご協力いただき、計77名のアンケート回答のうち、9割以上となる72名の方々から、今回のVR体験について『満足』『やや満足』との回答をいただきました。

（満足、やや満足と答えた方の主な意見）

- ・VRを初めて体験できて楽しかった。 ・リアルだった。
- ・避難の参考となった。 ・洪水や浸水のこわさがわかった。
- ・迫力があり、洪水の危険性がよくわかった。

（どちらともいえない、不満と答えた方の主な意見）

- ・こわかった。



来場者の方々が体験したVRは、想定最大規模の雨が降った時の河川の様子をシミュレーションした映像で、東北地方整備局能代河川国道事務所よりご提供いただきました。

また、VRゴーグル及びVR体験者にプレゼントした防災グッズは、福島県治水協会からご協賛いただきました。